

第 1 回課題調査部会での提案への対応案

提案内容	現状、考えられる取組の方向性、実行方法	実行主体
区役所1階に防災情報コーナーを設ける	<ul style="list-style-type: none"> - 区役所1階に防災関係のパンフレット等を集約した、防災情報コーナーを設ける。ただし、設置にあたっては、3月11日や防災の日(9月1日)の前後に期間を区切るなど、メリハリをつけることも考える必要がある。 - 上記で集めた情報をWeb上でも併せて集約し、中原区役所ホームページ上でも見られるようにする。 	区民会議 行政
外国人市民の転出入時に情報を伝える	<ul style="list-style-type: none"> - 外国籍の方が転入手続きを行う時に、「そなえる かわさき」(やさしいにほんご版)、「防災マップ(中原区版)」及び「やさしいにほんごきよてんりすと(なかはらく)」を配布する。 	区民会議 行政
「そなえる。かわさき」を識字学級の教材として使用する	<ul style="list-style-type: none"> - 中原市民館で開催している識字学級において、講師となっている日本語ボランティアと協議し、「そなえる かわさき」(やさしいにほんご版)を教材として採用してもらえよう働きかける。 	区民、行政
100戸以上のマンションには管理組合内に自主防災組織を結成するよう促す	<ul style="list-style-type: none"> - 中原区内の100戸以上のマンションのうち、町内会自治会未加入かつ自主防災組織未結成のマンションを調査する。 - 調査結果を踏まえ、対象マンションの管理組合に自主防災組織結成に対する意向調査を行う。 	区民会議、区 民、行政
小杉駅周辺のマンションが連携して防災に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> - 区民が自主的に連携していく取組を区役所で支援していく。 - 「中原区防災連絡協議会」内の部会において検討していく。 	区民、行政
DIGなどにより、中学生の防災意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> - 中原消防署が実施する防災教育の成果を発信し、取組をさらに推進していく。 	区民、行政
消防団員の定数不足を解消する	<ul style="list-style-type: none"> - 市政だより中原区版やなかはら区民会議だよりで特集を組むなどにより、消防団の重要性をさらに発信する。 	区民、行政
区内公共施設と連携した訓練を実施する	<ul style="list-style-type: none"> - 区民が区内公共施設と連携した防災訓練等を計画した時は、区役所が仲介するなどにより、区内施設と連携した取組を推進していく。 	区民、行政
自治体間の広域連携をする	<ul style="list-style-type: none"> - 20大都市のほか、個別に山形市、福井市、新潟市、静岡市、富山市、花巻市、那覇市などと包括協定を締結済みである。(川崎市地域防災計画 資料編参照) 	行政
「そなえる。かわさき」を小学校低学年へ配布	<ul style="list-style-type: none"> - 教育委員会より平成23年度に市立学校(小中高)の全生徒に配布済み。平成24年度は小学校1年生全員に配布済み。平成25年度の配布物は、教育委員会において検討中。 	行政
「私の安全・安心シニアカード」を改善し、災害用の携帯カードにする	<ul style="list-style-type: none"> - 「災害時緊急連絡カード」(健康福祉局所管)の普及を図る。 - 区役所で作成している既存のリーフレットに、災害時に必要な情報を書き込める欄を設ける。 	区民会議、行政
私立学校(法政二高、大西学園)を防災拠点として活用できるように連携する	<ul style="list-style-type: none"> - 区役所において現在協議中であり、引き続き協力を得られるよう働きかけを行う。 - 「中原区防災連絡協議会」への参加を働きかける。 	行政
外国人市民向けの資料を検証する	<ul style="list-style-type: none"> - 防災に関する資料は全市統一の内容とするため、ほとんどを総務局危機管理室で作成している。より外国人市民に理解してもらいやすい資料とするよう、危機管理室と協議していく。 	行政